

羅針盤			方策
評価対象	評価項目	具体的数値項目【対象、割合】	
I 保護者との連携	1 保護者への情報提供	生徒の活動の様子を保護者へ連絡し、理解を得ていますか。 ①学校や子どもの様子が分かると答えている。【保護者、80%】	○学校経営方針をHP等で周知します。 ○学校・学年・学級の様子をHPやたより等でわかりやすく伝えます。 ○保護者メールで迅速に情報を発信します。
	2 連携のための環境づくり	保護者は学校のことを知ろうとしていますか。 ②学校やPTAの諸活動に参加している。【保護者、80%】	○保護者の相談には、真摯に対応するとともに、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携を図ります。
	3 保護者への対応	保護者は学校に連絡や相談がしやすいと思っていますか。 ③学校に連絡や相談がしやすい。【保護者、80%】	○HiBARIプラン3.0による授業改善を図ります。 ○生徒が、他の生徒と協働して情報交換したりまとめたりする授業を行います。
II 確かな学力	4 分かる授業	生徒は、授業が分かり、真剣に学習活動に取り組み、満足感や達成感を味わっていますか。 ④「授業が分かる」と答えている。【生徒、80%】	○教科担当が学習状況を把握し、指導の充実を図ります。 ○副教材やプリント、小テスト等を活用して知識の定着を図ります。
	5 基礎・基本の定着	生徒は学習内容の基礎・基本が確実に身に付いていますか。 ⑤定期テストや学力検査で、基本的な問題を解けている。【生徒、80%】	○チェックカード、G-ライフログ、学習計画表などの活用により、生徒の努力を認め、励まし助言します。
	6 評価	生徒の学力や学習に取り組む努力を適切に評価し、その結果を授業改善にいかしていますか。 ⑥学力や努力を適切に評価されている。【生徒、80%】 ⑦授業における生徒の実態に応じた指導の成果が出ていると感じている。【教職員、80%】	○テスト等の結果分析を行い、個別指導を充実させます。 ○生徒に到達目標と評価の観点の観点を具体的に示すとともに、授業改善を図ります。
	7 学習習慣	家庭で自主的に学習する習慣が生徒に身に付いていますか。 ⑧タブレットやドリル・ワーク等の教材を活用して、ほぼ毎日家庭学習に自主的に取り組んでいる。【生徒、80%】	○家庭学習への取り組みについて、タブレットを活用した家庭学習のやり方の具体例を示したり、あらかじめ家庭で学習をしてから授業に参加する学習カリキュラムを組んだりして、生徒に自主的計画的な家庭学習の習慣が身につくようにします。
III 豊かな心	8 あいさつ・言葉遣い	進んであいさつをする生徒が育っていますか。 ⑨進んであいさつをしている。【生徒、80%】	○生徒会や部活動等の組織を活かすことにより、生徒があいさつの大切さに気づき、進んでできるようにします。
		時、場、相手に応じた適切な言葉遣いができる生徒が育っていますか。 ⑩相手や状況に応じた適切な言葉遣いができる。【生徒、80%】	○常時指導だけでなく、様々な教育活動の場面で、時と場に応じた適切な言葉遣いができるように指導します。
	9 いじめのない温かな人間関係	生徒は、楽しく学校へ通っていますか。 ⑪「学校が楽しい」と答えている。【生徒、80%】	○生徒指導や教育相談の情報や対策を教職員が共通理解し、指導や相談を充実させます。
		いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。 ⑫学校は悩みやいじめの解消に努めている。【生徒、80%】 ⑬自校の取組がいじめの未然防止や早期発見、解消に成果をあげている。【教職員、80%】	○悩み（いじめ）アンケートを毎月実施し、早期発見、早期対応に努めます。 ○生徒にかかわる情報を密に交換し、気になる様子のあったときは組織で対応します。 ○人権感覚を高め、いじめを許さない雰囲気を作ります。
		相手の立場になってものごとを考えることができる生徒が育っていますか。 ⑭相手の嫌がることをしたり、悪口を言ったりしないようにしている。【生徒、80%】	○教育活動全体を通して、思いやりの心や、いじめを許さない心情・判断力・態度を育てます。
	10 学校や家庭のルール	学校のきまりや約束を守る生徒が育っていますか。 ⑮学校のきまりや約束を理解し、守ろうとしている。【生徒、80%】	○吉岡中のきまり等について生徒が主体的に考える機会を設け、自らきまりを守ろうとする生徒を育成します。
生徒は家族の一員としての役割を持って生活していますか。 ⑯家族に感謝し、役に立とうとしている。【生徒、80%】		○学活や道徳等で、家族への感謝の気持ちを育みます。 ○自己決定の場を与えたり、自己有用感を高めるような機会を設けたりします。	
各教員は、生徒の間違った行動について適切に指導していますか。 ⑰先生は児童生徒がきまりを守って生活できるようにきちんと指導している。【生徒、80%】		○生徒の話をよく聞いて、頭ごなしの指導とならないようにします。 ○教師と生徒の適切な距離感を保つようにします。	
IV 健康・体力・部活動	11 基本的な生活習慣(家庭教育)	生徒は、毎日朝食をとって登校していますか。 ⑱毎日朝食をとって登校している。【生徒、80%】	○担任と保健委員による朝の健康観察を実施し、生徒の健康状態を把握します。 ○保健だよりや学校保健委員会等で朝食や睡眠の大切さを取り上げ、生徒や保護者へ啓発します。 ○家庭との連携により、基本的な生活習慣の向上を図ります。
		生徒は十分な睡眠をとって生活していますか。 ⑲1日6～9時間の睡眠時間をとっている。【生徒、80%】	○体育授業や部活動等を通して、積極的に運動しようとする意識を高めます。
	12 体力づくり	健康で体力のある体をつくろうとする生徒が育っていますか。 ⑳日常的に運動(部活動を含む)や地域のスポーツ活動などに取り組んでいる。【生徒、80%】	○適正な部活動の運営方針にしたがって計画を作成し、活動します。
	13 部活動	部活動ガイドラインに則り、適切に活動していますか。 ㉑適切に部活動を実施している。【保護者、80%】	○町教委と連携して施設設備の整備や修繕を進めます。 ○危険箇所が見つかったときは直ちに対処して安全を確保します。 ○毎月の安全点検や業者等による点検を実施します。
V 安全確保・施設設備	14 学校の施設・設備	学校の施設・設備は安全ですか。 ㉒校舎内外の環境がよく整備され、安全である。【保護者、80%】	○火災・地震・不審者対策など緊急時の安全対策について計画を見直し、効果的な訓練を行います。
		⑳月1回安全点検を行い、危険な箇所等の改善を図っている。【学校】	○年度当初に交通安全教室を開催します。 ○毎月、安全委員による自転車点検を行います。 ○生徒自身が自分の身を守れるように、安全な登下校についての意識を高められるようにします。
	15 学校の安全対策	事故防止、災害や不審者対策等、安全教育の徹底を図っていますか。 ㉓危機管理マニュアルを活用し、年2回以上、実際の訓練を行っている。【学校】	○教員による朝の交通指導、PTA校外指導部等と学年教員による下校時の防犯パトロールを計画的に実施します。
		㉔通学路の危険箇所や緊急時の安全対策などについて家庭で話題にしている。【保護者、80%】 ㉕交通ルールを守って登下校している。【生徒、80%】	○保護者や地域、警察等関係機関との情報交換を積極的に行い、心配な状況のあるときは安全確保に向けて迅速かつ適切に対応します。
16 地域の安全対策	学校・家庭・地域は連携して、交通安全指導や通学路の点検・パトロールをしていますか。 ㉖学校は家庭や地域と連携して通学路の安全確保に努めている。【学校】 ㉗警察や地域等から情報が寄せられたとき、学校は迅速かつ適切な安全対策を講じている。【教職員、80%】		
VI 進路・生き方	17 夢や希望	自らの将来の夢や希望について考えられる生徒が育っていますか。 ㉘「自分はやればできる」「将来、やってみたい職業や興味のある職業がある」と答えている。【生徒、80%】	○キャリア教育全体計画に基づき、計画的に社会的・職業的自立のために必要な能力の育成を図ります。 ○自己決定の場をもたせたり、自己肯定感を高める機会を設けたりするようにします。
		親子で生徒の進路について話し合えるよう家庭への働きかけを行っていますか。 ㉙子どものよさや今後の目標、将来の夢や希望などについて家庭で話題にしている。【保護者、80%】	○学校からの便りや懇談会、面談等を通して進路等の情報を提供することで、家庭での話し合いを啓発し、適切な進路実現を支援します。